

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 7 年 6 月 17 日	
石川県知事 馳 浩 殿	
提出者	
住 所	石川県羽咋市柳橋町五俣刈5番地
氏 名	小倉建設株式会社
	代表取締役社長 小倉 一夫
電話番号 0767-22-2132	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	小倉建設株式会社
事業場の所在地	石川県羽咋市柳橋町五俣刈5番地
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	3,384,436,000円
③従業員数	77名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<div><div><div>・ 廃プラスチック</div><div>・ 金属くず</div><div>・ ガラス・陶磁器くず</div><div>・ コンクリート・アスファルト殻</div><div>・ 木くず</div><div>・ 混合廃棄物</div></div><div><div>→ 全量委託処理</div><div>→ 再生利用業者への処理委託</div><div>→ 全量委託処理</div><div>→ 再生利用業者への処理委託</div><div>→ 生木は全量自社破砕して発電用燃料</div><div>→ 全量委託処理</div></div></div>

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
<div>(管理体制図)</div> <div><div>代表取締役社長 (産業廃棄物総括役員)</div><div>↓</div><div>専務取締役 (産業廃棄物処理総括責任者)</div><div>↓</div><div>土木部現場代理人 (排出者) 建築部現場代理人 (排出者)</div><div>⇨</div><div>↓</div><div>総務部 管理 (集計)</div></div>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 様式第二の八『別紙1表』に記載		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 様式第二の八『別紙1表』に記載		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ がれき類（コンクリート・アスファルト殻）は分別するとともに、 廃石膏ボードについても、他の廃棄物に混入しないように確実に分別保管を実施		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 廃プラスチック類を種類ごとに分け、原材料として再利用できるものを分別		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	193 t	t
	（これまでに実施した取組） ・これまでと同様で雨天時に破砕作業を中止し、晴れ間の破砕作業を行い、自然乾燥に取り組んだ。また、屋内保管にも努めた。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	70 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・これまでと同様で雨天時に破砕作業を中止し、晴れ間の破砕作業を行い、自然乾燥に取り組んだ。また、屋内保管にも努める。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	5 t	t
	（これまでに実施した取組） 雨天時の破砕作業は中止とし、晴天日に破砕作業を行い、自然乾燥に取り組んだ。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	10 t	t
	（今後実施する予定の取組） ・これまでと同様で雨天時に破砕作業を中止し、晴れ間の破砕作業を行い、自然乾燥に取り組んだ。また、屋内保管にも努める。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	様式第二号の八『別紙2表』に記載		

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類		
		全 処 理 委 託 量	t	t
		優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
		再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
		(今後実施する予定の取組) 様式第二号の八『別紙2表』に記載		
	※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
① 現 状	【前年度 令和6年度 実績】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	金属くず	ガラス・陶磁器くず	コンクリート殻	アスファルト殻	木くず	混合廃棄物	廃石膏ボード
	排 出 量	55 t	15 t	2 t	2643 t	2912 t	482 t	2 t	103 t
	(これまでに実施した取組) ・分別作業を徹底して行い、特に廃プラスチックは水洗いを行い減量化や再生利用に努めた。 ・ コンクリート殻・アスファルト殻は土砂の取り除きを行い減量化に努めた。 ・ 分別ボックスを増やし徹底した分別を行い減量化に努めた。								
② 計 画	【目 標】								
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	金属くず	ガラス・陶磁器くず	コンクリート殻	アスファルト殻	木くず	混合廃棄物	廃石膏ボード
	排 出 量	45t	12t	2t	2100t	2200t	370t	1t	70 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 分別作業を徹底して行い、特に廃プラスチックは水洗いを行い減量化や再生利用に努める。 ・ コンクリート殻・アスファルト殻は土砂の取り除きを行い減量化に努める。 ・ 分別ボックスを増やし徹底した分別を行い減量化に努める。 ・ 新築・改築工事の石膏ボードは2～3回に分けて現場搬入を行い必要最小限に止め減量化に努める。								

産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
【前年度 令和6年度 実績】									
産業廃棄物の種類	廃プラスチック	金属くず	ガラス・陶磁器くず	コンクリート殻	アスファルト殻	木くず	混合廃棄物	廃石膏ボード	
全処理委託量	55 t	15 t	2 t	2643 t	2912 t	482 t	2 t	103 t	
優良認定処理業者への処理委託量	1 t		1 t	678 t	143 t	101 t		4 t	
再生利用業者への処理委託量	55 t	15 t	2 t	2643 t	2912 t	289 t	2 t	103 t	
認定熱回収業者への処理委託量									
自ら中間処理した量						193 t			
① 現 状	(これまでに実施した取組)								
	・分別作業を徹底して行い、特に廃プラスチックは水洗いを行い減量化や再生利用に努めた。								
	・コンクリート殻・アスファルト殻は土砂の取り除きを行い減量化に努めた。								
	・分別ボックスを増やし徹底した分別を行い減量化に努めた。								
	・木くずの中間処理(破碎)作業は晴天時に行い減量化に努めた。								

② 計 画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	廃 プラスチック	金属くず	ガラス・陶 磁器くず	コンクリート 殻	アスファルト 殻	木くず	混合 廃棄物	廃石膏 ボード
	全 処 理 委 託 量	45t	12t	1t	2100t	2200t	370t	1t	70t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量								
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	45t	12t	1t	2100t	2200t	300t	1t	70t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量								
	自ら仲介処理した量						70t		
	(今後実施する予定の取組)								

- ・分別作業を徹底して行い、特に廃プラスチックは水洗いを行い減量化や再生利用に努めます。
- ・木くずの中間処理(破碎)作業は晴天時に行い減量化に努めます。廃石膏ボードの減量化に努めます。